

港区

伝わる日本語

シンポジウム

すべての人に「伝わる」日本語とは

港区ではあらゆる人に必要な情報が伝わるよう、受け手の立場に立って分かりやすく情報を伝える「伝わる日本語」の取組を進めています。この取組を、区民、企業、団体等へ浸透させるとともに、他の地方公共団体へ広く発信することを目的に、シンポジウムを開催します。シンポジウムでは、伝わる日本語の取組の一環として行っている専門家との共同研究の中間報告や、基調講演、企業等の取組内容の紹介を行うとともに、伝わる日本語の取組をテーマとしたパネルディスカッションを行います。

3/24金

令和5年

定員：150名

参加費：無料

13時00分～16時30分(開場：12時30分)

会場

港区立男女平等参画センター(リーブラ)内ホール

港区芝浦一丁目16番1号

プログラム

第1部	13:00~13:10	主催者挨拶	武井 雅昭氏(港区長)
	13:10~13:20	シンポジウム趣旨説明	庵 功雄氏(一橋大学 国際教育交流センター 教授)
	13:20~14:10	基調講演 「受け手に届く、分かる、響く、 伝達術 プレインジャパニーズ」	浅井満知子氏(株式会社エイアンドピーブル 代表取締役)
	14:10~14:15	休憩	
	14:15~14:45	伝わる日本語に関する取組内容の紹介 親松 雅代氏(株式会社メルカリ Language Education Team所属) 五條 眞樹氏(ソフトバンク株式会社 CSR本部) 井上 裕之氏(文教大学 情報学部 准教授)	
	14:45~15:25	共同研究の中間報告 太田 陽子氏(一橋大学 国際教育交流センター 教授) 柳田 直美氏(一橋大学 国際教育交流センター 准教授) 奥野 由紀子氏(東京都立大学 人文科学研究科 教授) 岩田 一成氏(聖心女子大学 現代教養学部 教授)	
	15:25~15:45	休憩	
第2部	15:45~16:30	パネルディスカッション「これからの日本社会と伝わる日本語」 【コーディネーター】 庵 功雄氏(一橋大学 国際教育交流センター 教授)	
		【パネリスト】 親松 雅代氏(株式会社メルカリ Language Education Team所属) 五條 眞樹氏(ソフトバンク株式会社 CSR本部) 井上 裕之氏(文教大学 情報学部 准教授) 岩田 一成氏(聖心女子大学 現代教養学部 教授) 若杉 健次氏(港区総務部伝わる日本語推進担当課長)	

●参加申込方法
お電話にてお申込みください。

みなとコール

03-5472-3710

※申込は先着順

●申込締切
令和5年3月10日(金)17時

●手話通訳あり

●一時保育あり

・対象児童：4か月～就学前

・定員：5名程度

※ご利用を希望される方は、参加申込時にお申し出ください。(申込順)

●お問合せ先

港区総務部伝わる日本語推進
担当 03-3578-2021

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入室の際は検温・マスク着用・手指消毒にご協力ください。

基調講演

浅井 満知子

株式会社エイアンドピープル
代表取締役



青山学院大学経営学部卒業、青山学院大学 大学院 国際政治経済学 研究科 修了。企業勤務を経て、1998年翻訳・通訳会社「エイアンドピープル」を設立。ブレイン・イングリッシュの戦略的かつ効果的な英文コミュニケーションの研鑽を重ね、2010年から現在まで日本IR協議会のセミナーで、上場企業の広報 IR 担当者向けにブレイン・イングリッシュの講義を毎年開催し、普及活動に従事。2019年4月に日本初のブレイン・イングリッシュの普及推進団体 JPELC (ジャパン・ブレイン・イングリッシュ・アンド・ランゲージ・コンソーシアム) を設立。著書に『伝わる短い英語 新しい世界基準 Plain English』(東洋経済新報社)、『日本人の日本語を考える』(庵功雄氏著、丸善出版)に共著で2章の「海外の動向 --ブレインランゲージをめぐる」を担当。

パネルディスカッション

コーディネーター

庵 功雄

一橋大学
国際教育交流センター
教授



大阪大学文学研究科博士課程修了(博士(文学))。大阪大学文学部助手、一橋大学留学生センター専任講師などを経て、現職。専門は日本語教育、日本語学。港区と「伝わる日本語」に関する共同研究を行う、「やさしい日本語」研究グループの代表を務める。主な著書に、『やさしい日本語』(岩波新書)、『「やさしい日本語」表現事典』(丸善出版)、などがある。

取組紹介

パネルディスカッション パネリスト



親松 雅代

株式会社メルカリ
Language Education Team 所属

外資系国際物流会社を経て2013年より日本語トレーナーとして活動。留学生やビジネスパーソン、看護師・介護士候補者への日本語教育を担当。2018年7月よりメルカリに在籍。日本語プログラムとスピーキングテストを開発。また「やさしいコミュニケーション」の社内トレーニングを主導。言語のバックグラウンドが異なる社員同士が、お互いどのように歩み寄りのコミュニケーションをしたらよいか社員に伝えている。

取組紹介

パネルディスカッション パネリスト



五條 眞樹

ソフトバンク株式会社 CSR本部

1992年4月に日本テレコム入社(2004年ソフトバンクへ)。技術部門3年、営業部門25年を経て、2019年10月よりCSR業務開始。現在、CSR業務3年をむかえ、東京都内にて社会貢献活動・地域課題解決にむけた各種取組を行っている。ICT技術を使い、日々の暮らしを豊かにできればと思っている。

取組紹介

パネルディスカッション パネリスト



井上 裕之

文教大学 情報学部 准教授

1990年からNHKで報道記者・デスクとして長年ニュース原稿の執筆を行う。2010年からNHK放送文化研究所で放送のことばについて調査・研究を行う。2022年から現職。一橋大学言語社会研究科博士課程修了(学術)。著書に「ニュースの談話構造の総合的研究」(コ出版)、『日本人の日本語』(丸善出版、共著)などがある。

登壇者 プロフィール

中間報告



太田 陽子

一橋大学 国際教育交流センター
教授

早稲田大学大学院修了。博士(日本語教育学)。国際交流基金専門家(マレーシア)、早稲田大学、相模女子大学を経て現職。専門は日本語教育学。特に、教育文化、留学生に対する日本語教育とともに、大学院で日本語教育の教員・研究者養成に携わる。著書に「文脈をえがく 運用力につながる文法記述の理念と方法」(コ出版)、編著書に「超基礎 日本語教育のための日本語学」(くろしお出版)などがある。

中間報告



柳田 直美

一橋大学 国際教育交流センター
准教授

筑波大学大学院修士課程地域研究研究科修了。博士(言語学)。早稲田大学、関西学院大学等を経て、現職。専門は談話分析、日本語教育学。自治体職員向けの研修を実施し、外国人にもわかりやすい話し方の支援を行っている。著書に「接触場面における母語話者のコミュニケーション方略：情報やりとり方略の学習に着眼して」(コ出版)、『やさしい日本語で伝わる！公務員のための外国人対応』(学陽書房、共著)などがある。

中間報告



奥野 由紀子

東京都立大学 人文科学研究科 教授

広島大学大学院博士課程修了(教育学)。海外インターン、日本語学校、大学非常勤などを経て、横浜国立大学留学生センターに勤務。2014年より現職。専門は第二言語習得研究、日本語教育学。日本語教育を行いながら、教師養成や研究指導を行っている。主な著書には「日本語教師のためのCLIL入門」(凡人社)、『超基礎 第二言語習得研究』(くろしお出版)、『日本語教育のためのコミュニケーション研究』(くろしお出版)などがある。

中間報告

パネルディスカッション パネリスト



岩田 一成

聖心女子大学 現代教養学部 教授

国際交流基金日本語国際センター、広島市立大学を経て、現職。専門は日本語教育学。出入国在留管理庁、神奈川県・埼玉県・静岡県などで職員向け研修を実施し、外国人にもわかりやすい公用文作成の支援に取り組む。「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」作成メンバーの一人。

港区 伝わる日本語 シンポジウム

すべての人に「伝わる」日本語とは？



港区立男女平等参画センター (リーブラ)

港区芝浦一丁目16番1号



会場までのアクセス方法

- JR「田町駅」東口(芝浦口) ペDESTリアンデッキ徒歩5分
- 都営地下鉄浅草線A7出口・三田線「三田駅」A9出口 徒歩7分
- ちいばす 芝浦南ルート「みなとパーク芝浦」 徒歩0分
- ちいばす 芝浦南ルート「芝浦一丁目」 徒歩4分
- 都営バス(田92・99)「田町駅東口」 徒歩6分

お問合せ先 / 港区総務部伝わる日本語推進担当 03-3578-2021

主催 / 港区